

### 「本部」反動集団の常駐を要求する

八月三〇日の津田沼支部における「裏切り分子糾弾動労千葉総決起集会」が圧倒的に成功し、三十一日には、「本部」反動集団による暴力的襲撃策動に対し全支部から結集した組合員の怒りの反撃が爆発した。こうしたわが動労千葉の裏切り分子糾弾の闘いの爆発の前に動労「本部」反動集団がもくろんだ島田らをかき集めた「八月中動労『本部』派の津田沼支部結成」は、完全に破綻した。こうして、失敗に失敗を重ねる「本部」反動集団は、ますます国鉄当局に泣きつき、「勤務の厳正をもっとしっかりやれ」とか「局課員の職場への常駐」を平然と要求し、動労千葉への弾圧・破壊を要求するという全く許しがたいことを行なっている。

### 裏切り分子の「防衛」に終始する「本部」反動集団！

八月段階における「千葉再建」と、特に八月三〇日(三十一日)の暴力的襲撃策動に失敗した「本部」反動集団は、今や完全に新小岩・木皿・格和・津田沼・島田らの裏切り密通分子の「防衛」行動のみに終始し、他支部に対する押しかけ「オルグ」がまったく出来ない状況にある。

しかも、八月二十五日から三十一日までの七日間の青年部全国動員が実は、東京地本大会の防衛に早や変わりさせられ、千葉に実際に来たのは、八月三〇日の二五〇名、三十一日の一〇〇名のみであった。

こうして動労運動の引き廻しと私物化を公然とおしすすめ、もはや、大衆運動としての労働組合の体裁をまかなぐりすてているのだ。

### 当局に「勤務の厳正」と「局課員の常駐」を要求する「本部」反動集団！(津田沼)

裏切り密通分子島田らの「防衛」のために津田沼電車区に連日押しかけてくる「本部」反動集団が、実際にやっていることといったら、当局に対し、「勤務の厳正と職場管理をもっとしっかりやれ」とハッパをかけているのだ。御用組合・鉄労も顔まけのやり方ではないか。

特に八月三〇日(三十一日)の暴力的襲撃策動の失敗後は、島田らの裏切り分子の防衛を当局に泣きつき、津田沼電車区検修詰所に、局課員の常駐を強力に要求したのである。

これは、マル生闘争当時の拠点支部に対し国鉄当局が公安官や局課員を常駐させた手口とそっくり同じやり方ではないか。

わがもの顔に詰所に入り込む「本部」反動集団！(新小岩)

新小岩支部には密通分子・木皿などの防衛のた

め「本部」反動集団が、連日四〜五名入り込んでくる。

彼らは、密通分子の出勤・退区を前後して押しかけ、乗務員詰所の中わがもの顔で入り込み、しかも、たたみの部屋まで上り込み、テレビを見ているときもある。

こうした「本部」反動集団の傍若無人ぶりが、小岩支部の多くの組合員の怒りがますます高まっている。

新小岩支部では、先日開催された支部委員会において木皿・格和など裏切り分子に対する態度を明確にし、具体的な行動を決定した。


### 裏切り分子を許さず、団結をかためて前進しよう！

一四〇〇組合員の団結を内部から破壊し、「本部」反動集団と一体となって国鉄当局の推進する三五万人体制に大々的な国鉄合理化の先兵となっていく裏切り密通分子を断じて許すわけにはいかない。

われわれは、今こそ、マル生闘争の教訓を生かし、「本部」反動集団の国鉄当局と一体となった動労千葉破壊策動を粉碎しよう。

そして、この闘う力を一層強化し、三五万人体制攻撃に国鉄再建合理化を粉碎し、動労大改革を全国の仲間とともに闘い抜こう。

**9.16 三里塚現地大集会!**  
《動労千葉独自集会》  
●10時30分●成田運転区前



二期工事着工実力阻止  
ジェット燃料増設阻止  
備蓄輸送一列車阻止に決起した動労千葉(1978.3.1)